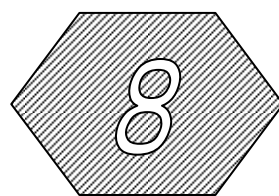


東京物語 STORY



2011年 8月6・7・8日 第142回学校体育研究同志会全国研究大会速報
東京大会実行委員会編集部

分科会①の感想

障害児体育

特別支援学校の運動会は見学したことがなかったので、映像が見られてよかったです。またどうしてそのような種目にしたのか、どういう工夫があるのか等見ただけではわからないことも説明してもらえて、勉強になりました。

障害児体育への考え方が色々あることがわかりました。「三とも」私も考えていきたいと思います。ありがとうございました。
Tさん（東京）

幼年体育

基調提案を聞きながら、自分の保育を振り返って「ああ、そういうことか」なんて考えることができました。「できる」を言語化させていくことの大事さに特に共感できました。私のクラスでも鉄棒をやりながら、なかなかとびついて腕で支えることができなかった子が、他の子に「うでをのばして！」と言われてのばしたら本当にできた！なんてことがあり、その後、その子が他の子にも同じように教える姿がありました。明日、明後日も、自分の保育とつなげて考えられたらと思います。
Hさん（東京）

小学校低・中学年体育（ボール運動）

新学習指導要領のことが詳しく知ることができた。曾根先生の実践で、ラグハンドというゲームを知ることができた。若い先生が自分と同じようなことで悩んだり、困ったりしてるのが分かったし、子どもたちときちんと向き合っている姿がすばらしいと思った。ありがとうございました。

Yさん（東京）



小学校低・中学年体育 (器械運動)

同志会の流れの中で、分科会が生まれたのが整理でき、わかりやすかったです。教材は同じでも教える中身や学びとらせたい力をいかに身につけさせていくかを、いかに授業にくみ入れていくか、難しい課題です。今年度切に思うことは、子どもが学びたいと思って学ぶ。もっとやりたいと思って主体的にやる。それに適切な教材や発問、教材観をどれだけ教師がもっているかが、大切になるということです。今回の報告の中から探し出せればと思っています。

Tさん (兵庫)

小学校低・高学年体育

昨年度の提案に続き、ボール運動と男女の関わりについての話し合いがとても有意義に感じました。高学年担任として男女問題もさけられないので様々な意見が聞けた事が今後の学校生活にいかせそうです。ありがとうございました。

Aさん (千葉)

中学校体育



「生きづらさ」をかかえる中学生の生活課題を体育という授業を通して、どうしていくべきか、どう考えるべきなのかという現場の先生方のリアルな話を聞くことができてよかったです。

Oさん (宮城)

←この後ろ姿は氏岡さん

高校体育

昨年と比べ吉田先生の太鼓のレポートで、生徒達のリズムやたたき方が上達していると思いました。流れがわかって見ていてトリハダが立ちました。バレーボールの実践では、やはり学校による生徒の体育のレベルや生徒同士の性質等によって計画通りに行かないリアルが見えました。

Iさん (兵庫)

フラッグフットボール「戦略・戦術」

フラッグフットボールは子どもたちに不満を作る、課題を見つけさせる、いい教材なのだと思います。Sくんの様子が私のクラスにいたとき、Sくんの好きなチームを作らせたことがあります。でも、ゲームがつまらなくなり、「先生、チーム変えたい」と言い出したのはSくんのような子でした。役割がはっきりしているからこそ、子どもたちは不満を持ち、課題を見つけられ、自主的な表現が生まれるのだと思います。また語りたいです。小川さんおつかれさまでした。

Yさん（東京）

バスケットボール「戦略・戦術」

初めて参加させていただき、今までの同志会でのバスケットボールの考えなどをしっかり理解できておらず、書いてある提案の言葉を読みながら、難しいなあ…と感じたのが正直な感想です。DFから教えるのと攻め方の工夫ができる、という考えもわかるのですが、そこまでもっていく動機づけなども、どうされてきたのかな…と知りたかったです。

Tさん（福岡）



サッカー「戦略・戦術」



初めて聞いた「じゃまじゃまサッカー」という名前でしたが、提案や報告のお話を聞いてその内容がイメージできました。明日の実技が楽しみです。実際に自分の体で覚えて帰ろうと思います。

Nさん（東京）

器械運動「表現」

基調提案で本分科会や同志会としての考えを簡潔にお話ししていただき、このことをいつも念頭に置きながら研究していきたいと思いました。二人の先生の実践をビデオで見せていただき、授業の様子がよく分かりました。実践の課題についても話が出たので明日からの研究会が楽しみです。

Tさん（山梨）



ダンス「舞踊表現」

ダンスについて興味があって参加しました。体のこともよく分からないし、表現するってどんなことなんだろう、ということを今回の大会で勉強できたらいいです。

S さん（東京）

民舞「舞踊表現」

民舞について研究されている方や団体があり、奥が深いと感じました。民舞を通して何を子供に身に付けさせるのか、どういう子供を育てたいのかは、実技を通したり、協議したりしながら学べると有り難く思います。明日の実技が楽しみにになりました。

K さん（東京）

陸上「記録・競争」

たった4人の分科会でしたが、実践報告の質、レベルの高さに驚きました。人数が少ない分、一人ひとりにもどってくるものは大きいと期待しています。「競争」の原理についてもっと学んでいきたいと思いました。

S さん（東京）

水泳「水辺文化」

初めて水泳分科会に参加。教員生活の最後にしてドル平を学べるのがうれしい。同志会研究のエッセンスがすべてであると思っている。なぜドル平を学ばなくてはいけないのか、2日間で体を使って学びたい。

I さん（愛知）

健康教育の授業づくり

とても興味深い実践でした。ありがとうございました。子どもたちが本物を知るのは、とても大切だと思います。そして、知ったことが次につながることもっと重要なのではないかと考えます。四日市ぜんそくから学び、子どもたちは、どんなアクションを起こし、どう行動しているのか（生活の中での変化や気づき）をもっと教えていただきたいです。明日もよろしくお願いします。

A. Mさん